

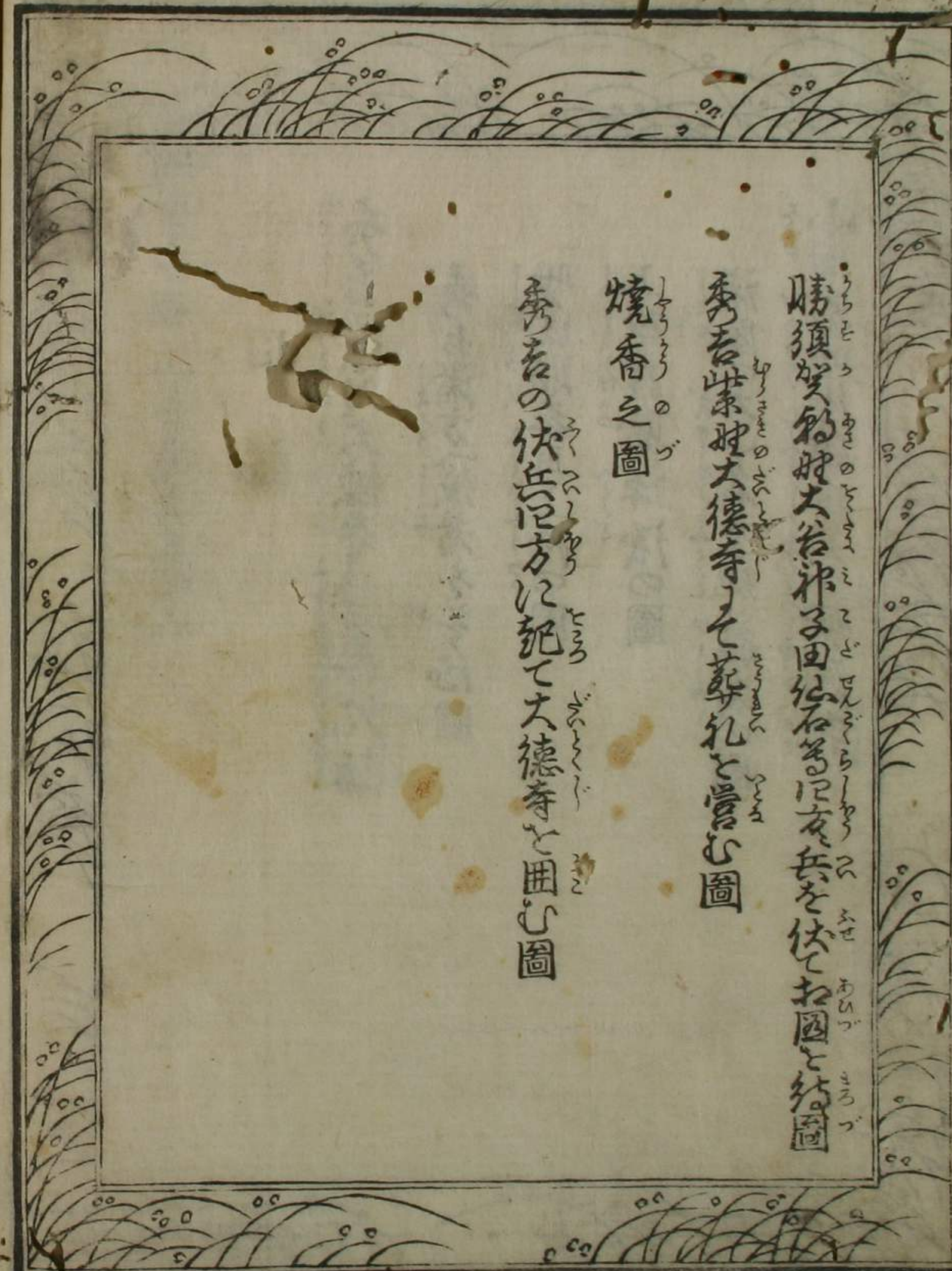


勝頼が頼朝大岩神子田代石巻に友兵を伏せお國と結圖

秀吉此東村大徳寺にて葬礼と營心圖

燒香之圖

秀吉の伏兵に方に配て大徳寺と圍心圖



繪本右衛門記に篇卷之十一

秀吉此東村大徳寺營葬礼

後を懐く遠きと追別は徳重きと仰は根も羽此本焼石守秀吉へ

大坂を在疎てあつたは九月上迄て今度の此東村大徳寺に葬ひて

君信長との清葬式を營心とて後せらるる是秀吉が深き思ふより

知つたはしは秀吉より後節を以て右大居河野越送の儀をお福らるる人

に小畠中右衛門信雄御神戶侍後信吉御此本田正徳が依久間を番取

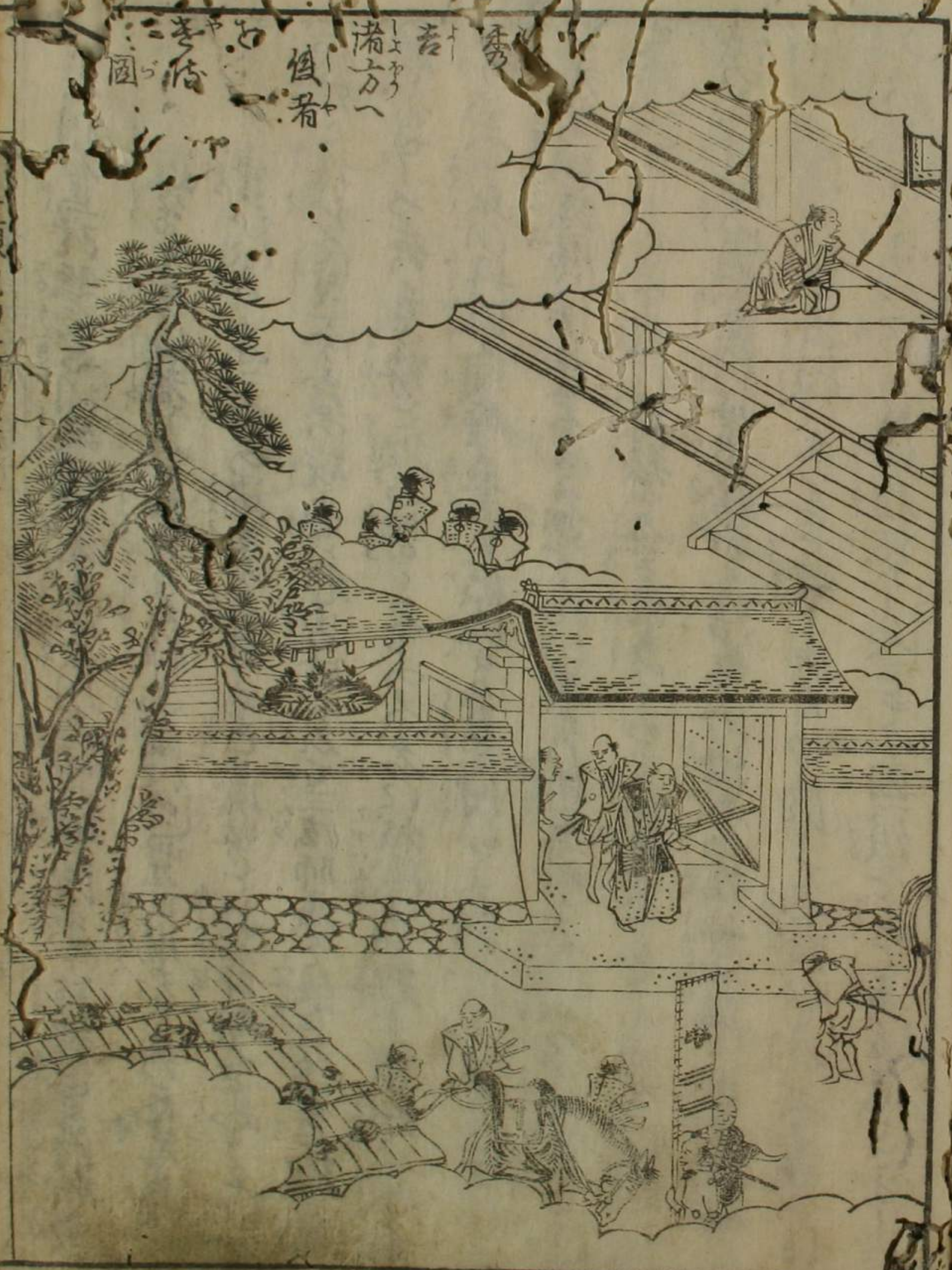
登政龍川左近の監一益の計多し入故信照是角又即左衛門長秀摩

惠多政左衛門年が依陸奥守成政本林勝秀長一中河野平清秀る山

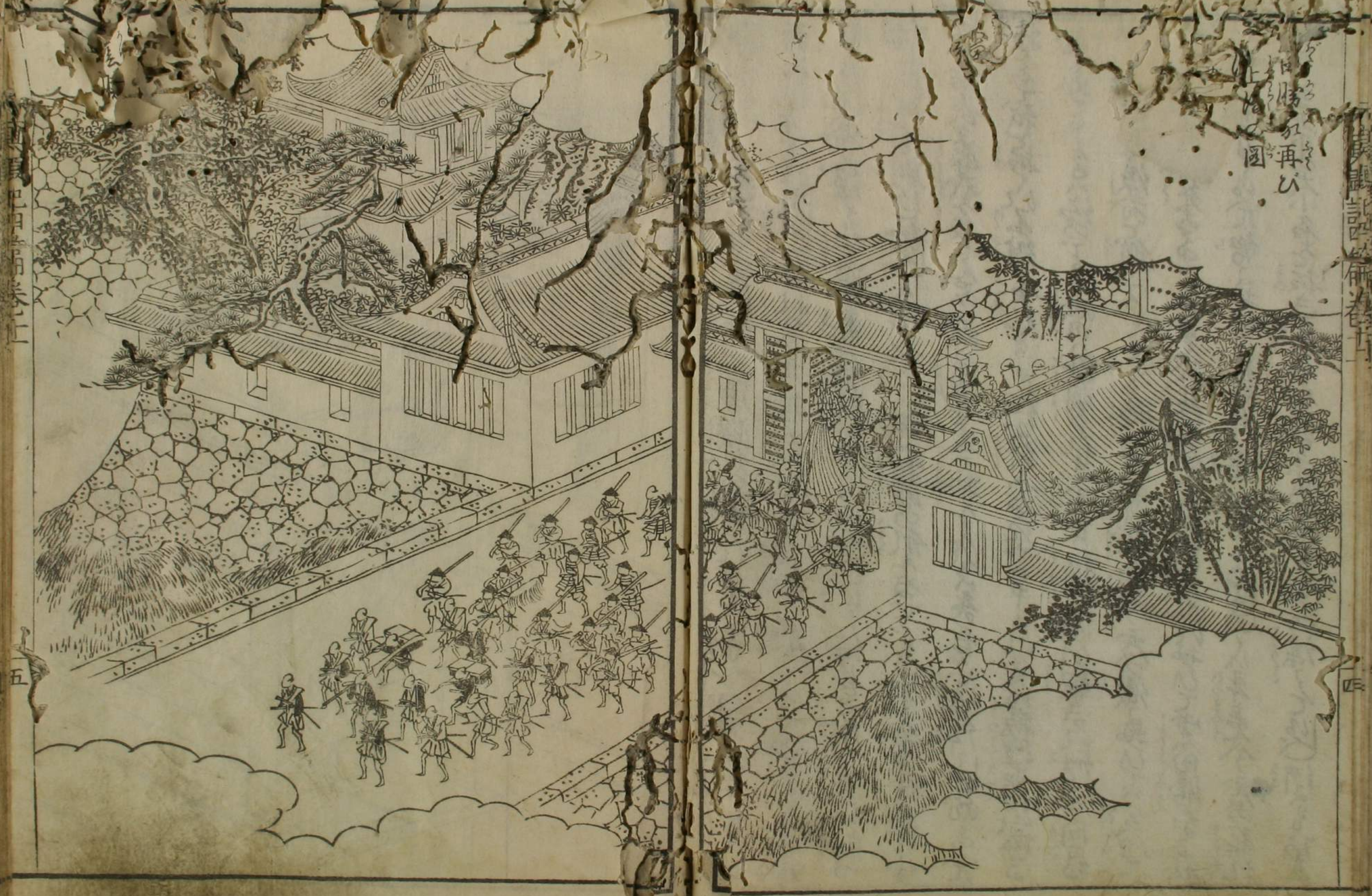
右近長房左衛門右衛門守國漏竹中頼朝の細河遊發て其外不破合本林

秀吉小田家の恩を蒙りて若くは小田又構らば悉く是を知せ外核の諸候





東 山 三 四 十 傳 卷 二



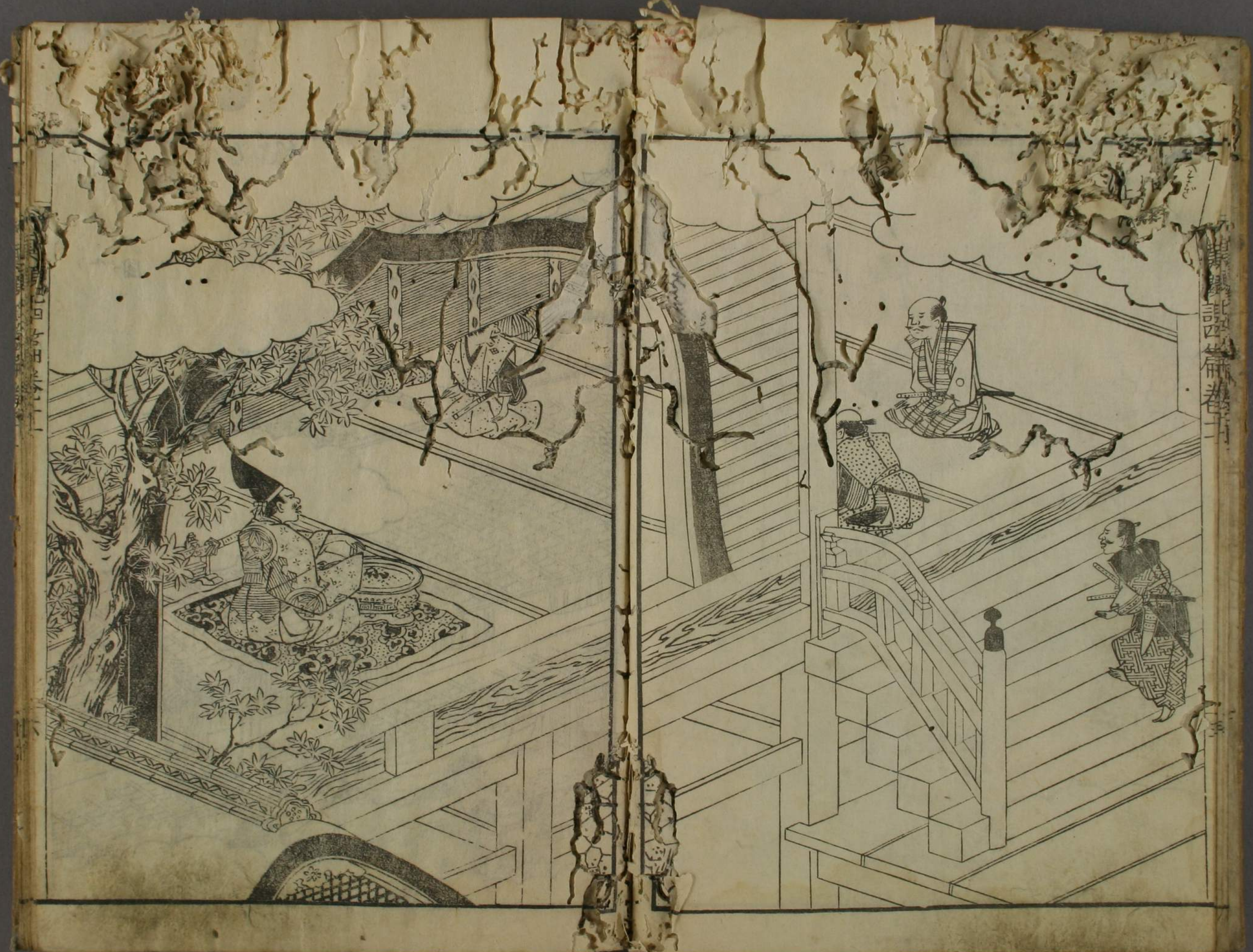
再入
園

皇朝詩話卷之五

皇朝詩話卷之五

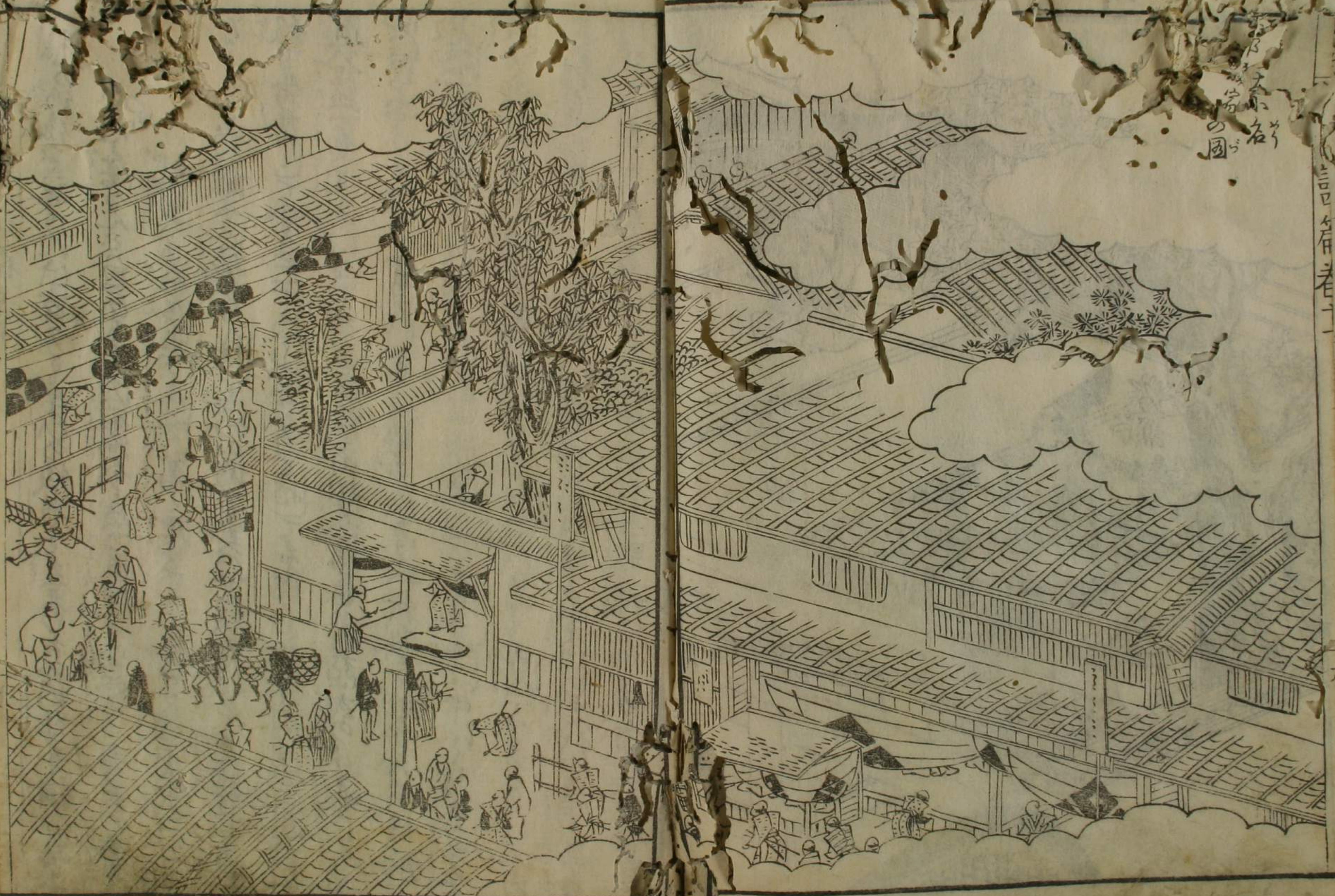
五

四



萬葉記 卷之五

萬葉記 卷之五



名
の
国

言
四
篇
卷
一

元弘の勢を以てしやうにけりとも申ひの復者を立秀吉の形勢を伺ひ給ふ
 其外小田家の取居悉く出陣(篤)と虚言を言せし由ありに
 其由取寄心腹を以て(接)由山城の室の上杉の係は其時勝を以て
 以て香奠して合ふ三千あると傳ふとて(特)て京都とてよりけり(附)龍川丸
 出陣監一益園ありて秀吉の復者(別)信長所(派)式のりありて
 心(思)ふ中(う)に(金)兼(田)取(寄)心(腹)勢(力)は(は)我(我)衆(衆)を(押)今(今)度(度)の(後)論(論)
 見(見)破(破)業(業)田(田)心(心)に(は)諸(諸)國(國)の(大)名(名)集(集)り(中)に(は)我(我)衆(衆)を(押)
 此(此)の(由)に(は)天(天)下(下)の(政)を(執)持(持)せ(し)る(も)心(心)私(私)に(は)ほ(ほ)り(し)る(も)上(上)洛(洛)し(し)る(も)小(小)田(田)
 新(新)古(古)の(取)居(居)も(も)是(是)れ(れ)の(代)代(代)福(福)原(原)兼(兼)後(後)の(小)田(田)の(代)代(代)中(中)務(務)馬(馬)若(若)
 川(川)谷(谷)川(川)市(市)を(ま)を(名)代(代)に(其)外(外)近(近)國(國)を(立)郡(郡)一(一)村(村)の(ま)り(し)る(者)兼(兼)信(信)長(長)

の(勢)送(送)の(式)を(羽)兼(兼)統(統)の(名)代(代)に(其)外(外)近(近)國(國)を(立)郡(郡)一(一)村(村)の(ま)り(し)る(者)兼(兼)信(信)長(長)
 其(其)の(由)に(は)天(天)下(下)の(政)を(執)持(持)せ(し)る(も)心(心)私(私)に(は)ほ(ほ)り(し)る(も)上(上)洛(洛)し(し)る(も)小(小)田(田)
 新(新)古(古)の(取)居(居)も(も)是(是)れ(れ)の(代)代(代)福(福)原(原)兼(兼)後(後)の(小)田(田)の(代)代(代)中(中)務(務)馬(馬)若(若)
 川(川)谷(谷)川(川)市(市)を(ま)を(名)代(代)に(其)外(外)近(近)國(國)を(立)郡(郡)一(一)村(村)の(ま)り(し)る(者)兼(兼)信(信)長(長)
 の(勢)送(送)の(式)を(羽)兼(兼)統(統)の(名)代(代)に(其)外(外)近(近)國(國)を(立)郡(郡)一(一)村(村)の(ま)り(し)る(者)兼(兼)信(信)長(長)
 其(其)の(由)に(は)天(天)下(下)の(政)を(執)持(持)せ(し)る(も)心(心)私(私)に(は)ほ(ほ)り(し)る(も)上(上)洛(洛)し(し)る(も)小(小)田(田)
 新(新)古(古)の(取)居(居)も(も)是(是)れ(れ)の(代)代(代)福(福)原(原)兼(兼)後(後)の(小)田(田)の(代)代(代)中(中)務(務)馬(馬)若(若)
 川(川)谷(谷)川(川)市(市)を(ま)を(名)代(代)に(其)外(外)近(近)國(國)を(立)郡(郡)一(一)村(村)の(ま)り(し)る(者)兼(兼)信(信)長(長)

十(十)年(年)冬(冬)十(十)月(月)十(十)日(日)羽(羽)兼(兼)統(統)守(守)秀(秀)吉(吉)兼(兼)大(大)德(德)寺(寺)を(抄)ひ(ひ)て(故)
 其(其)の(由)に(は)天(天)下(下)の(政)を(執)持(持)せ(し)る(も)心(心)私(私)に(は)ほ(ほ)り(し)る(も)上(上)洛(洛)し(し)る(も)小(小)田(田)
 新(新)古(古)の(取)居(居)も(も)是(是)れ(れ)の(代)代(代)福(福)原(原)兼(兼)後(後)の(小)田(田)の(代)代(代)中(中)務(務)馬(馬)若(若)
 川(川)谷(谷)川(川)市(市)を(ま)を(名)代(代)に(其)外(外)近(近)國(國)を(立)郡(郡)一(一)村(村)の(ま)り(し)る(者)兼(兼)信(信)長(長)



勝頼殿
仙石等
兵を
伏て
相澤を
待つ
圓



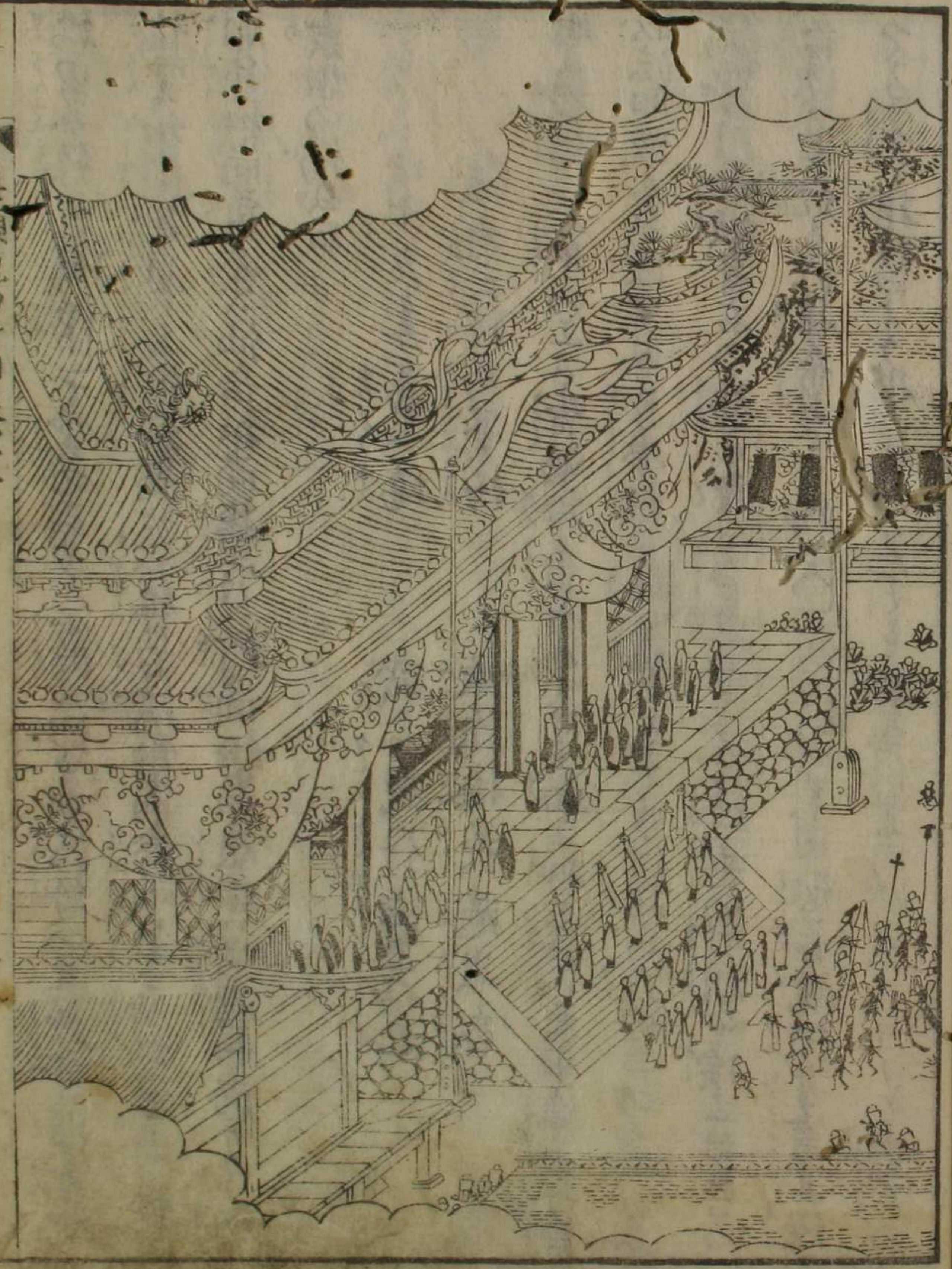
皇朝通志卷一百一十一

國心營之祀廟之制大德



皇朝通志卷一百一十一

十一



其二

真經記四傳卷七

見申すい方の幕引後、徳志を冠し、腕腕の袍を着、玉の平緒合
 の真袋、腰細のきつ、後、帯び、表赤衣、段、搦、三法師と抱きまわし、
 駿指として、加茂虎之、女、日、孫、一、後、橋、市、松、行、切、祐、他、石、川、兵、左、衛、門、助、
 右、衛、門、平、井、檢、平、浦、坂、彰、内、石、回、佐、右、方、ま、不、忠、の、勇、士、十、六、人、肌、着、の、よ、
 小、奥、足、穿、り、肩、衣、引、つ、け、袴、の、他、多、く、た、て、公、方、又、眼、を、配、り、と、い、ふ、一、摺、ミ
 又、五、指、ん、に、勢、い、と、左、右、の、固、い、守、護、と、い、い、並、居、る、諸、國、の、大、小、名、け、形、
 勢、に、物、天、交、に、何、れ、も、以、者、さ、く、息、を、浩、く、扱、る、秀、吉、と、眼、を、配、り、と、い、
 開、き、不、忠、の、信、雄、信、孝、不、忠、の、勝、が、一、益、嗣、若、三、法、師、河、燒、香、未、お、海、さ、
 又、靈、石、に、遊、び、と、此、れ、の、幼、流、尾、籠、を、り、扱、以、と、威、み、く、武、き、其、ま、さ、い、
 信、雄、信、孝、思、ひ、た、と、と、和、と、退、き、跡、居、く、と、柴、田、勝、家、と、見、て、
 怒、り、つ、つ、松、後、松、送、よ、ま、ま、り、と、り、大、い、な、を、勵、は、し、て、我、れ、之、秀、吉、信、雄、信、孝、の、

本、御、の、故、右、大、臣、の、云、は、三、法、師、及、の、叙、父、君、と、ま、ま、以、て、信、忠、郷、の、河、燒、香、
 なら、い、三、法、師、殿、の、先、進、と、い、ふ、も、理、り、と、今、日、の、河、法、の、い、ま、右、大、臣、信、長、
 の、河、吊、ひ、た、り、は、や、又、右、の、靈、石、之、邊、の、物、と、い、ふ、と、孫、の、三、法、師、及、何、の、
 理、み、く、支、ら、る、や、況、や、秀、吉、親、系、の、身、を、な、て、此、れ、と、の、先、言、何、事、と、
 の、狂、言、か、る、ぞ、其、と、不、忠、不、忠、と、の、こ、え、と、い、い、物、と、い、ふ、不、道、人、勝、家、が、人、の、
 る、さ、う、依、之、間、を、番、秀、吉、引、出、し、己、後、の、こ、こ、に、お、教、を、お、や、し、罵、り、小、ぞ、勝、
 家、が、後、に、扱、面、受、勝、家、依、之、間、を、引、出、し、と、い、ふ、と、い、い、が、秀、吉、右、大、臣、
 並、居、る、加、茂、後、橋、行、切、糟、谷、浦、坂、平、井、等、の、勇、士、も、近、寄、り、切、捨、ん、と、扱、さ、
 を、け、目、に、取、り、一、帯、の、諸、士、外、換、の、諸、度、と、い、ふ、と、孫、の、出、来、せ、り、と、い、い、
 極、め、り、及、合、せ、る、秀、吉、勝、家、と、い、ふ、と、白、眼、三、法、師、若、信、長、の、河、法、師、
 又、申、す、孫、の、三、法、師、納、言、に、教、せ、ら、し、天、下、の、武、ね、不、傳、り、孫、の、孫、小、田、村、



皇言四府卷一

飛龍飛義の旗本が飛をいひ中込やちやと勢りの旗本河内龍川志根を挫き
 傷む信雄若者面を怒ふのでくまの肺き居り多附おんぞと羽柴は
 濃守の長相保の狼烟をいひとあげを大筒とておれむ寺内は方の惟幕
 の内よりぬきの勇兵別率も鉄炮の筒先を並べていふ討報さん
 とをきかば生約新八小西弥九郎一万余人の軍兵は從て大徳寺の上方と
 多田一人も渡をほしといひゆく程に龍岡梅津寺に陣西景
 伏居る羽柴が軍兵相國の狼烟をいひや吾旗指物をさるく押
 鬪をいひ全敵をいひ八方より浩去大徳寺をさるくやい敵後り思
 けし、乞をいひや柴田龍川佐久間をいひや言さるの返言るや並居る
 諸國の大小お計の席を離れどくといや大寺出来ると安んじ
 うらりたる秀吉も身をいひ行も飛をいひ悪を戒むと居る





巴野野野

十八

山崎合戦軍功を記す

柴田修理進正信勝家

龍川九郎長益

龍川九郎長益

龍川九郎長益

龍川九郎長益

龍川九郎長益

山崎合戦軍功を記す

中河勢平清房

山右近長房

為計多為不故信照

山崎元兵衛長次 辰原秀次

小野源次郎 平長益

柴田修理進 近世勝家

瀧川元進 為監一益

是角只郎 左衛門尉長秀

羽柴元濃 守平秀長

羽柴孫七郎 平秀次

山崎合戦 軍功を以て席を進み輩より

中河勢平 清秀

山右近 長房

石計良 不致 結照

符安 法印

塩川伯耆守 國備

應惠多政 左衛門 菅原孝家

堀休左郎 秀政

藤勝 秀長

佐久間玄蕃 氏盛 政

峰谷兵庫 氏親 隆

合藤又郎 八長 進

安部仁左衛門 友邦

不破 三光 次

新熊元 景 代 福原 誠 後 守

讀史記

石川源兵衛名代中務右馬

新川元善名代 谷川市左

上杉系勝之名代 奥江山城守

渡田秀家名代 花房近江守

勝頼賀小六郎政具

朝野孫平 長政

長束勘兵衛辰子

山崎合戦勲功より焼香の列に連なる徳川

羽柴秀吉名代

坂尾隆左

堀尾忠晴

坂田祐作

松浦市松

平野権平

加藤九馬

浦坂新内

糟谷助右衛門

石川兵衛

為計多し入敵之臣

片桐才左衛門

伊本清玄

阿部宗重

中川小九郎門

徳島県

磯元進

塩川國漏之良

塩川若左馬

坂 秀政之良

山口兵左馬

尾角長秀之良

丸毛若左郎

其後諸國郡系の... 後を定め九雷... 印塔の形にして白銀...

生涯別離の悪... 外様の勇丈... 其計は... 其計は... 其計は...

徳島県... 尾角長秀之良... 丸毛若左郎...

